

東京都ジュニア冬季短水路記録会 追加要項

貴団体におかれましてはますますご清祥のことと存じます。

2月5日（土）、6日（日）に行われます競技会の詳細が以下の通り決まりましたのでお知らせいたします。

コーチ入場 両日とも 7:15 正面ゲート（第6ゲートからスタンドへ入場）

- ※ 健康管理表と誓約書とADカードを持参の上入場すること。忘れた場合は入場できません。
- ※ 検温の実施（37.5度以上ある場合は入場出来ません）

選手入場 各種目入場時間（タイムテーブル参照・・・入場時間変更になってます） 正面ゲート（第6ゲートからスタンドへ入場）

- ※ 健康管理表とADカードを持参の上入場すること。忘れた場合は入場できません。
- ※ 検温の実施（37.5度以上ある場合は入場出来ません）
- 入場時は実行委員の指示に従うよう、各団体で選手を指導すること。

※本大会は保護者の入場はできません。

競技開始等は、別紙タイムテーブル（競技順序）をご確認ください。

【メインプールウォーミングアップについて】

（午前の部）AB面とも両日 周回レーンのみ A面メイン・アップ 7:30～8:40 B面メイン・アップ 7:30～8:30
（午後の部）AB面とも両日 周回レーンのみ 午前の部 終了後からA面メイン13:15まで B面メイン13:10まで

◆ 公式スタート練習は行います・・・当日、案内いたします

また、ウォーミングアップ時にダッシュレーン（状況によっては公式スタート練習とする）A面 8レーンに設置いたします。
※その後、レーンの混み具合を見て実行委員の方でレーン数の調整を行います

- ◆ レーンロープにつかまったり、ぶら下がったりしないこと。（所属のコーチが必ず監視・引率すること）
- ◆ メインプールの水深は2.0mです。赤台はありません。（11才以下の選手は、なるべくサブプールを利用してください）

【サブプールウォーミングアップについて】 ※ サブプールは入場から各種目退館時間10分前まで使用できます。以下の注意事項を厳守すること。

- ◆ スイムキャップを着用すること。レーンロープにつかまったり、ぶら下がったりしてはいけません。
- ◆ 1レーンは男女共用のスタートダッシュ専用レーンとする。ダッシュレーン以外での飛び込みは禁止。
スタート練習を並んで待つときは、前後の間隔を空け、ソーシャルディスタンスを保つこと。引率者が必ず付き添って使用すること。
- ◆ 両端のレーンは横からの入水を禁止する。
- ◆ 女子は窓側3レーン、男子はスロープ側3レーンを使用すること。荷物置き場も同様に女子は窓側、男子はスロープ側とする。
※ メインプール・サブプール共に、プルブイ・キック板・フィンのみ使用可とするが、実行委員が危ないと判断した物は使用禁止とする。
（安全を考慮しての判断となりますので、厳守してください）

【競技上の注意】

- ◆ 本競技会は、A面(男子)・B面(女子)で実施致します。
- ◆ 基本、オーバー・ザ・トップ方式（前レースの選手が水中待機状態で次レースをスタート）で行う。担当コーチは事前に選手に伝えること。
- ◆ 選手の待機場所はスタンドのみとする。（トレーニングルームは使用しない）
- ◆ スタートは、ウッドデッキ側から行う。別紙レイアウト図を参照すること。
- ◆ 招集は、ダイビングプール側ウッドデッキにて行う。また、アリーナ内。招集場へ入る際にADカードを首から下げて入場すること
※ADカードが無い選手のアリーナ内・招集場への入場は出来ない
- ◆ 監督者会議、記録の認定は行わない。
- ◆ 個人種目を棄権する場合は、棄権用紙に必要事項を記入の上、コンピューター室へ提出すること。
- ◆ リレー競技が実施される場合、リレーオーダー提出〆切時刻は、両日とも午前の部9:00 午後の部13:30までにコンピューター室に提出してください。
〆切時刻に未提出の場合は【棄権】となります。
- ◆ 選手背番号一覧表は、追加要項にて公開しプログラムには掲載しない。
- ◆ 棄権用紙、ADカード、背番号一覧表は追加要項にて掲載してあるものを、各団体においてダウンロードして使用すること。
※ADカードは、参加者5名につき1枚です・・・例）13名の参加者＝3枚
- ◆ アマチュア規定等に十分注意すること。
- ◆ 選手は、出場競技終了後には退館時間を守り、速やかに退館すること。

【チャレンジレース】

- ◆ 今大会において出場した種目の記録が、J0参加標準記録、**50mにつき+0.70秒**まで、チャレンジレースに申し込むことができる。
- ◆ 該当競技終了後20分以内に、所定のチャレンジレース申込書に記入し、**コンピュータールーム**に申込金を添えて申し込むこと。
- ◆ **参加費についてはジュニア委員会が負担しますので、無料といたします（申込書の提出・参加基準タイムの厳守をお願いします）**
- ◆ チャレンジレースは、当該種目と同日に行う。

① **タイムテーブル順に行います。**

② **1500m・800m自由形のチャレンジレースは2日目に行います。**

【会場での注意】

- ◆ **入場は第6ゲート、退場は第1ゲートとする。**
- ◆ 更衣室内のロッカーは使用禁止とする。荷物は控え場所に持って行き、各団体が貴重品と共に管理すること。
(更衣室内では、必ずマスクを着用すること)
- ◆ 盗難が多発しているため、貴重品の管理にはくれぐれも注意すること。
- ◆ 会場内の器物破損や、落書きなどを発見した場合、実費を請求するだけでなく参加団体を出場停止処分とすることがある。
- ◆ 有料駐車場は台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関を利用すること。
- ◆ 路上駐車は厳禁です。発見した場合は、所属団体を出場停止処分とする場合があるので十分注意すること。
- ◆ 応援は大きな声を出さず、拍手などで行いましょう。
- ◆ 食事は原則禁止とします。1日を通しての引率コーチは、休憩時間のみ食事を許可します。その際は対面を避け、距離を空けてください。
- ◆ 審判長の笛が鳴ったら、スタートの合図まで静かにすること。また、フラッシュ撮影も禁止します。
- ◆ ゴミは、会場内や周辺の屑籠に捨てずに持ち帰ること。
- ◆ ガムを噛みながらプールサイドへの入場はできない。
- ◆ **忘れ物・落とし物は、期間中第1ゲート付近にて保管する。(最終日競技終了後に残っているものは処分する)**
持ち物には必ず団体名を明記すること。大会最終日に各団体にて忘れ物の確認をしてから帰ること。
忘れ物・落とし物に関する問い合わせは、所属団体の担当者を通じて行う。辰巳水泳場への問い合わせはしないこと。
- ◆ 招集所、更衣室内への携帯電話・iPad・MP3プレーヤー等の持ち込み及び使用は禁止する。
- ◆ プールサイドの履物着用を許可する。(室内用履物)ただし、更衣室内は素足で通行すること。
- ◆ 競技会中は、警備員が場内を巡回する。不審者を見かけた場合は、警備員もしくは競技役員へ届け出ること。
- ◆ 引率者は、競技終了後スタンド席を簡易清掃の上、速やかに退館すること。
- ◆ スタンドの最前列は、安全上の問題により使用できない。(荷物置きは可)
- ◆ **館内すべての場所において、シート・毛布・カード等での場所取りは一切できない。また、赤テープを貼ってある座席は使用できない。**

【撮影許可証について】

- ◆ 会場内でのビデオ及び写真撮影はすべて許可制とし、許可なく撮影した場合はテープ・メモリー・機材本体等を没収することがある。
スマートフォン・iPadなどでの撮影にも許可証を必要とする。
- ◆ 撮影を許可する対象は、「出場団体引率者」、「出場選手」とする。状況により身分証明書の提示を求める場合がある。
- ◆ 撮影する方は、事前に販売した撮影許可証をホルダーに入れ首から下げること。

【前日準備について】

- ◆ **2月4日(金) 19:00~20:30 辰巳水泳場にて行います。**
対象団体は、別紙追加要項・役員依頼書・前日準備依頼書を参照してください。

【その他】

- ◆ 追加要項・協力競技役員について … 後日、東京都水泳協会ホームページ上にて公開いたします。
- ◆ 悪天候・天変地異・会場側の不測の事態等により、開始時刻の遅延もしくは開催を中止する場合がある。
その際は、東京都水泳協会のホームページ <http://tokyo-swim.org/> もしくは会場の館内放送で状況を確認すること。
- ◆ 不明な点、問い合わせ等は …(公財)東京都水泳協会 ジュニア委員会 委員長 小野潤一 (携帯)080-3598-4046

【参加標準記録超過について】

(1) 大会当日に参加標準記録の超過が発生した場合、当該選手が所属する団体の責任者は、1 種目あたり 3,000 円の超過料を添えて、記録超過報告書を**コンピュータールーム**に届け出ること。なお、大会期間中に**記録超過報告書**が未提出の場合は、超過料とは別に延滞金 3,000 円を徴収する。

(2) 大会当日に参加標準記録を突破できなかった場合でも、エントリー時点（申込締切日）で参加標準記録を上回る公認記録（**短水路・長水路は問わない**）の実績があり、それを証明できる場合は、超過料の徴収はしない。

ただし、記録超過報告書が未提出の場合は超過料と延滞金の徴収対象とする。

※記録の証明は公益財団法人日本水泳連盟公式サイト「競技結果検索」または「スイムレコードモバイル」を参照する。すみやかに確認できるよう、記録超過報告書提出時にスマートフォン等で提示すること。

(3) 超過料は当該選手本人に課すものではなく、エントリーを行った登録団体に課すものとする。

(4) **記録超過報告書** は各自でダウンロードして持参すること。

参加上の注意(コロナ感染予防対策含む)

- コロナウイルス感染予防を一番に考え、東京都水泳協会から案内されているガイドラインを遵守し競技会に参加してください。
- 入場は、ADカード（必ずケースに入れ首からかけること）・健康管理表・検温この3点がないと入場出来ません。
- 参加団体は、今回より登録団体用健康確認票（兼誓約書）を提出しないと今大会へ参加できません（返金もおこないません）。
- 館内から最終退場（もう2度と館内に再入場しない）の際に、ADカードを退場口の実行委員へ提出してから退場すること。
（不正使用・不正作成をしていないかチェックをするため）
- 観覧席は隣との間を空け、場所取り・敷物禁止となっています。保護者観覧は出来ません（無観客競技会）。
- 選手は決められた入場時間より入館し、自分の競技が終了後、速やかに退館する（監督・コーチも確認し指示を出すこと）。
- 速報は、東京都水泳協会ホームページにて確認する（館内掲示は行いません）。
- 選手・コーチの控え場所はスタンドのみです（スタンドの場所取り行為・館内のいかなる場所も敷物等は全面禁止となります）。
- ウッドデッキは全面招集場となります。レイアウト図をご確認ください。
- 招集は、通告からの案内があつてから来ること。密を避けるために早くから招集場へは来ないように（入場制限する場合もあります）。
- 選手用の椅子等は設置しません。脱いだ衣類は各自で持参した袋等に入れて持ち歩いて招集場→レースへと移動する。
- レース・ウォーミングアップ・レース直後を除いては必ずマスクの着用をお願いします
（特に更衣室内・サブプールから更衣室等への移動時にマスクを着用していないケースが多く見られます）
- YouTube による映像配信を行います。